

## ＜お知らせ＞グリーンロジスティクス推進のための人材育成の現状

### 1. 企業における環境人材育成状況

皆様の会社で、物流・ロジスティクス分野における環境対応を進める人材育成（以下、「環境人材育成」と言う。）は、どの程度進められておりますか。

ロジスティクス環境会議（事務局：JILS）が、2008年度に実施した「グリーンロジスティクスチェックリスト調査」\*1の中で、環境人材育成に関わる項目（チェック項目No. 5）の結果は、下記のとおりでした。

#### 【チェック項目】

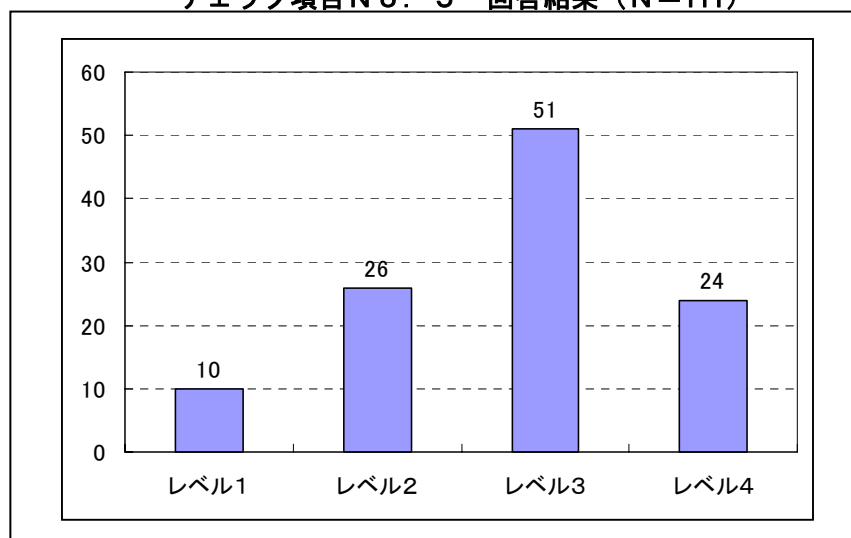
No. 5 グリーンロジスティクス推進のため、社員へ教育（人材育成）を行っている。

#### 【実施レベル】

レベル1. 出来ていない	レベル2. 遅れ気味で努力不足	レベル3. まずまず出来ている	レベル4. よく出来ている
グリーンロジスティクス推進のための教育訓練を実施しておらず、検討も行ったことはない。	グリーンロジスティクス推進のための教育訓練実施に向けて、検討している。	ロジスティクス関係部門を対象とした教育訓練は実施しているが、定期的かつ計画的なものではない。	環境に関する教育メニューを整理し、ロジスティクス関係部門に対し、定期的かつ計画的に教育訓練を実施している。

#### 【回答結果】

チェック項目No. 5 回答結果 (N=111)



平均…2.8点\*2

「平均が2.8点」、あるいは「レベル3の回答が最も多かった」という結果から、「まずまず出来ている」との見方もできますが、物流・ロジスティクスに係る専門教育に取り組んでいるJILSとしては、「レベル4」に到達する企業がさらに増えてほしいと考えております。

## 2. J I L S 環境教育メニューの特長

さて、レベル4の「環境教育メニューを整理するとともに、定期的かつ計画的に実施する」ために、J I L S の環境教育メニュー等の外部講習を上手に活用している企業が増えております。

例えば、ある物流子会社では、新入社員、入社3年目、さらには主任・課長・事業場長になるための社内研修の中で環境教育を含めるとともに、専門で携わる人間には J I L S のグリーンロジスティクスエキスパート講座などを計画的に受講させています。

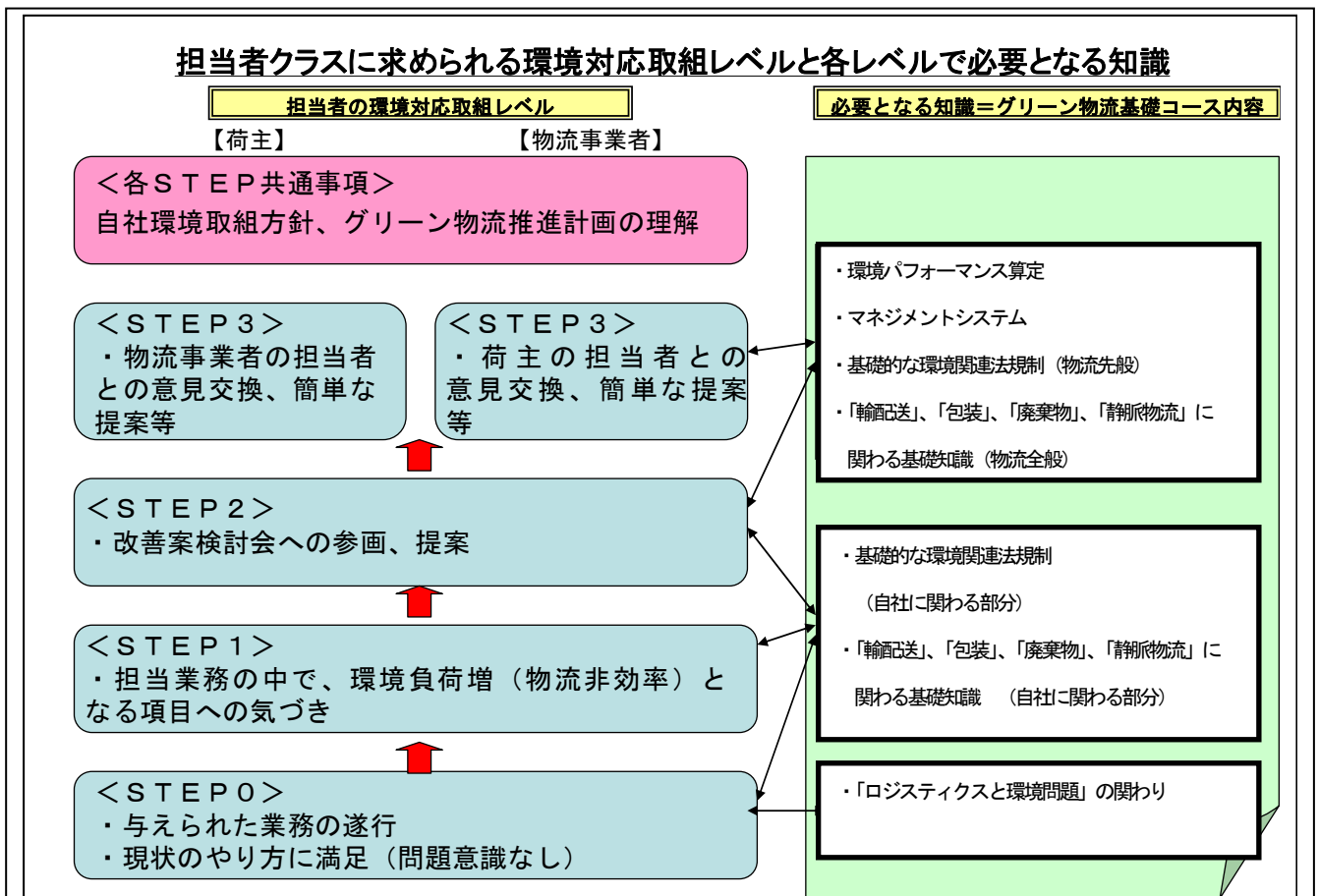
一方で、外部講習への部下の派遣を検討されている上司の方や社内教育を担当している人事部の方からは、「費用に見合った知識・能力を習得できるか不安がある」といった声をよく耳にするのも事実です。それらの不安を解消するため、J I L S の環境教育メニューには、下記のような特長があります。

### 1) 主任、係長、スタッフ向けのメニュー：グリーン物流基礎コース

主任、係長、スタッフについては、「物流・ロジスティクス分野における環境対応の基礎知識の習得」が求められます。一方、部下の派遣を検討されている上司の方からは、「(派遣予定の部下が)環境に関する知識がない中で、講義を聞くだけで習得できるか不安だ」という声も耳にします。

J I L S のグリーン物流基礎コースでは、体系的な講義を行うとともに、講義内容の再確認・再整理していただくために、單元ごとに課題レポートを作成・提出いただきます。さらに、提出いただいたレポートには、各講師がコメントをつけ、派遣責任者の方に返却しております。

昨年度、本コースに部下を派遣されたA社の方からは、「返却されたレポート及び講師のコメントを読んでみて、講義の理解の度合いとともに、部下自らが考えている様子が伺えた。普段の仕事では分からなかった部分が見えてよかった」との感想をいただいております。



## 2) 実務リーダー層（課長クラス）向けのメニュー：グリーンロジスティクスエキスパート講座

実務リーダー層については、「物流・ロジスティクス分野における環境対応の専門知識の習得」に加えて、「環境負荷低減に向けた課題への解決策の計画、実践、評価、改善できる能力の習得」が求められます。特に、後段を習得するためには、「実践的なプログラムをより多く経験する」ことが重要となります。

J I L Sのグリーンロジスティクスエキスパート講座では、3回にわたるグループ討議、さらには環境負荷低減施策実施計画案の作成といった受講者参加型のプログラムを多く取り入れております。

なお、本講座を修了し、所定の試験に合格しますと、「グリーンロジスティクス管理士」の資格が授与されます。

### (1) グループ討議（3回）

輸配送、包装材、廃棄物の3テーマそれぞれについて、グループに分かれて、課題に対する施策の立案及び発表を行います。

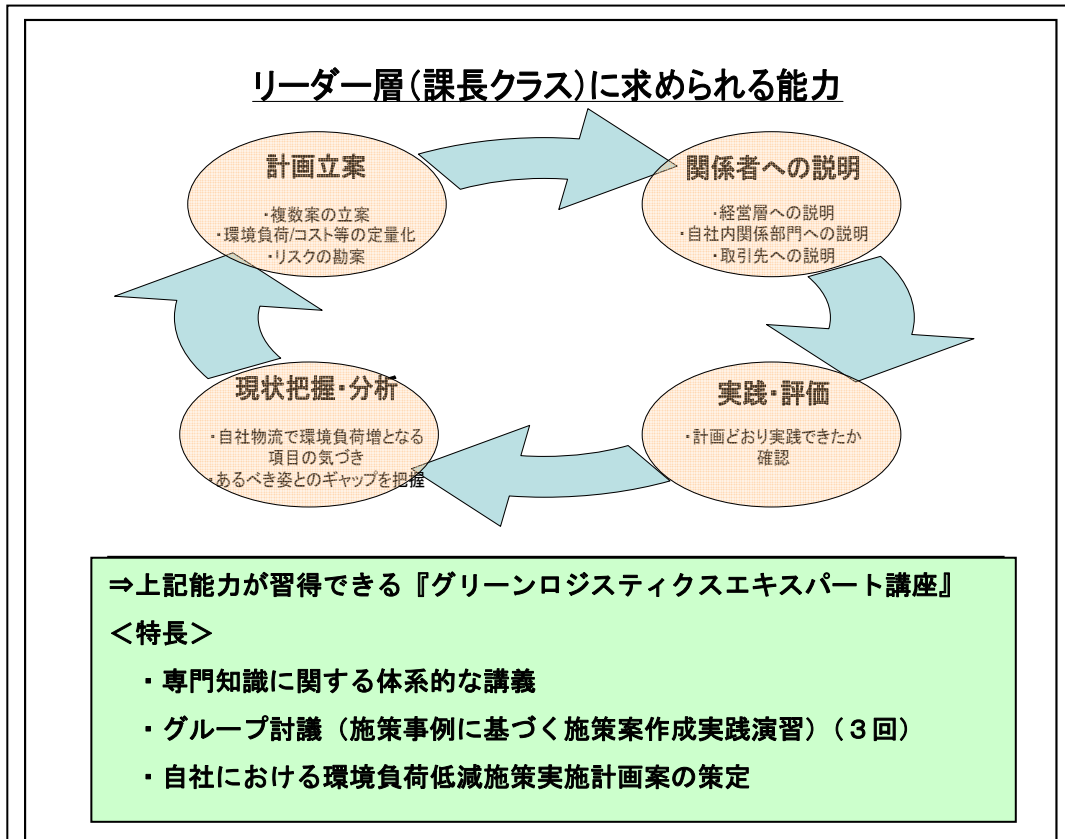
特に、異業種メンバーによる討議を通じ、解決方策をまとめあげるためのアプローチ方法が習得できます。さらには、自グループの発表のみならず、他グループの発表及び指導講師からの講評を通じて、新たな視点を得ることができます。

### (2) 環境負荷低減施策実施計画案の作成

自社の物流・ロジスティクス分野における環境負荷低減を進める上での問題点と当該問題点を解決するために実現可能な具体的施策案を、期待効果や投資費用、さらには代替案も含めてまとめていただきます。

さらに、策定いただいたレポートに対して、「指導講師からのレポート指導」によって、より実践的な内容にブラッシュアップすることが可能となります。

「グリーンロジスティクス管理士」の資格を取得された方の中には、本講座でまとめた計画案を、社内実践されている方もいらっしゃいます。



### 3. 最後に

JILSでは、下記のとおり、本年7月より「グリーン物流基礎コース」(大阪開催)、「グリーンロジスティクスエキスパート講座」(東京開催)を開講いたします。この機会にぜひご参加をご検討いただければ幸いです。

#### <第6回グリーン物流基礎コース>

【会 期】2009年7月24日(金)、8月6日(木)、8月21日(金)

【会 場】大阪リバーサイドホテル(大阪市都島区)

【定 員】30名

【参加料】JILS会 員:84,000円(税込)

JILS会員外:99,750円(税込)

※ロジスティクス経営士、物流技術管理士、国際物流管理士の資格取得者には優待割引があります。詳細はパンフレットの申込規定をご覧ください。

【問合せ先】関西支部 TEL. 06-4797-2070

#### <第5期グリーンロジスティクスエキスパート講座>

【会 期】2009年7月7日(火)~12月11日(金) 12日間

【会 場】東京都内会場

【定 員】50名

【受講料】JILS会 員:294,000円(税込)

JILS会員外:367,500円(税込)

※物流技術管理士、国際物流管理士の資格取得者、またはグリーン物流基礎コース修了者には優待割引があります。

【問合せ先】本部 人材教育部 TEL:03-5484-4021

#### \*1 グリーンロジスティクスチェックリスト調査…

「グリーンロジスティクスチェックリスト」とは、物流・ロジスティクスに携わる企業・部門が、環境問題等に積極的に取り組むべき項目が整理されている(全86項目)。また、各項目には、4段階の実施レベルが設定されている。

「グリーンロジスティクスチェックリスト調査」では、本チェックリストを用いた調査であり、具体的には、チェック項目ごとに自社の実施レベルを確認し、該当するレベルの番号「1~4」を選択いただいた。

#### \*2 平均点…

レベル1を「1点」、レベル2を「2点」、レベル3を「3点」、レベル4を「4点」として計算